



会社名 武田薬品工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長谷川閑史  
(コード番号 4502 東証第1部)

会社名 武田バイオ開発センター株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中村博安

2008年6月30日

## 抗癌薬パニツムマブ(遺伝子組換え)の製造販売承認申請について

武田薬品工業株式会社(本社:大阪府中央区、以下「武田薬品」)と武田バイオ開発センター株式会社(本社:東京都千代田区、以下「武田バイオ社」)は、本日、厚生労働省に抗癌薬パニツムマブ(遺伝子組換え)(一般名、以下「パニツムマブ」)について、進行・再発の結腸・直腸癌に対する製造販売承認申請を行いました。

パニツムマブは完全ヒト型のモノクローナル抗体であり、上皮細胞増殖因子の受容体結合を阻害することにより腫瘍縮小効果を示します。完全ヒト型であることから注射投与中又は投与後に現れる過敏反応の症状が少ない特長を有しています。

パニツムマブは、Amgen Inc.(本社:米国カリフォルニア州サウザンドオークス、以下「アムジェン社」)で開発され、米国および欧州において、同社より「Vectibix<sup>®</sup>」の製品名で販売されています。日本では、武田バイオ社が本剤の開発を進めてきました。

武田薬品の医薬開発本部長 宮本政臣は、「今回のパニツムマブにかかる承認申請は、当社の重点疾患領域の一つである癌領域の強化に資するものです。我が国において増加傾向にある結腸・直腸癌の患者さんならびに医療関係者の方々に、従来の化学療法とは異なる新たな治療オプションとして、一日も早く本薬をお届けできることを期待しています」と述べています。

武田バイオ社の代表取締役社長 中村博安は、「武田バイオ社として初の製造販売承認申請を実施できたことを大変嬉しく思います。当社は今後も、武田薬品がアムジェン社から導入した癌領域等における抗体医薬を中心とする革新的なバイオ医薬品の臨床開発に注力することで、『優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する』というタケダグループの経営理念の実現に貢献してまいります」と述べています。

### <問い合わせ先>

武田薬品工業株式会社: コーポレート・コミュニケーション部 増田(Tel: 03-3278-2037)

武田バイオ開発センター株式会社: 社長室広報担当 加藤(Tel: 050-3116-9994)

以上